

プログラム

13:00 開 場

13:30 開 会

司会・進行 柴田 優子

13:31 主催者挨拶

財団法人食生活情報サービスセンター 理事長代行 専務理事 小峯 正

13:35 第1部：基調講演（25分）

テーマ

従業員食堂における栄養管理

講演者：石田 裕美氏 女子栄養大学 教授（給食・栄養管理研究室）

14:00 配付資料説明（10分）

財団法人外食産業総合調査研究センター 研究員 松崎 俊

14:10 第2部：事例発表会（75分）

発表者

企 業

- ・菅谷真由美氏 西洋フード・コンパスグループ株式会社 メニュー開発調理指導室 管理栄養士
- ・福川 裕子氏 株式会社エトワール海渡 厚生部 管理栄養士 課長
- ・有馬 まゆ氏 株式会社 NEC ライベックス 第一フーズアンドケイタリング事業部 業務グループ 管理栄養士 産業栄養指導者

保健所

- ・白田久美子氏 東京都中央区保健所 健康推進課 総括主査
- ・山口 繁氏 大阪府 健康福祉部 健康づくり感染症課 総括主査

15:25 休憩（15分）

15:40 第3部：パネルディスカッション（50分）

テーマ

従業員食堂における食生活改善支援の現状と課題 —野菜摂取を中心に—

コーディネーター

- ・村山 伸子氏 新潟医療福祉大学 健康科学部 教授、保健学博士

パネリスト

- ・石田 裕美氏 女子栄養大学 教授（給食・栄養管理研究室）、栄養学博士
- ・武林 亨氏 慶應義塾大学 医学部 教授（衛生学公衆衛生学教室）、医学博士

（事例発表者5名）

- ・菅谷 真由美氏 福川 裕子氏 有馬 まゆ氏 白田久美子氏 山口 繁氏

16:30 閉 会

平成19年度 事例発表会

従業員食堂における 食生活改善支援の現状と課題 ～野菜摂取を中心に～



主 催：食育啓発協議会〔財団法人 食生活情報サービスセンター〕
野菜等健康食生活協議会（企業・団体等野菜等摂取普及啓発検討委員会）
共 催：青果物健康推進委員会
ファイブ・ア・デイ協会

開催日：平成19年10月10日（水）
13：30開会（開場13：00）▷▷▷16：30閉会

会 場：都道府県会館 101 大会議室
東京都千代田区平河町2-6-3

ねらい

最近における食事や健康管理等においては、普段の生活の中から生活習慣病を一次予防する時代の到来で、野菜と果物が持つ健康機能が改めて注目されています。しかしその一方、実際の消費量は減少傾向にあり、特に20～40歳代の野菜と果物離れは深刻で、いま注目を浴びているメタボリックシンドローム予備軍の増加が懸念されています。

平成20年度から施行される医療制度改革の中では、40歳以上の被保険者・被扶養者の健康診断と診断結果に基づく保健指導が医療保険者(健康保険組合)に義務付けられることになっております。これに平行して間接的に企業側の役割も求められていく可能性があります。

このような状況を踏まえて、従業員の健康管理の一環として、食堂において野菜等の摂取を推進している事例を紹介することを中心に、今後の企業において野菜摂取普及・啓発に具体的にどのように取り組んでいくかを考えていただくのがねらいです。

第一部：基調講演

[テーマ]

従業員食堂における栄養管理



[講演者] 石田 裕美氏(いしだ ひろみ)

■女子栄養大学 教授(給食・栄養管理研究室)

◆1983年女子栄養大学卒業。管理栄養士。1985年同大学大学院修士課程修了後、同大学助手、1992年同大学大学院博士後期課程修了、1995年同大学専任講師、1999年同大学助教授を経て2005年より現職、現在に至る。◆栄養学博士。◆主要役職：JOC女性スポーツ委員会委員、農林水産省独立行政法人評価委員会農業分科会専門委員、厚生労働省薬事・食品衛生審議会臨時委員、他多数◆主な専門分野：栄養管理、食事計画、給食経営管理。

第三部：パネルディスカッション

[テーマ] 従業員食堂における食生活改善支援の現状と課題
—野菜摂取を中心に—

[コーディネーター] 村山 伸子氏(むらやま のぶこ)

■新潟医療福祉大学 健康科学部 教授

◆1983年中央大学法学部卒業。1989年女子栄養大学大学院修士課程修了後、同大学助手、1998年東京大学大学院医学系研究科博士課程修了、博士(保健学)、1999年東北大学大学院医学系研究科専任講師、2000年コーネル大学栄養科学科Public Nutrition客員研究員、2001年新潟医療福祉大学健康栄養学科助教授、2005年より現職、現在に至る。◆学会活動：日本栄養改善学会評議員、日本健康教育学会評議員、他多数◆主な専門分野：ヘルスプロモーション、栄養生態学、国際栄養学



[パネリスト] 武林 亨氏(たけばやし とおる)

■慶應義塾大学 医学部 教授

◆1989年慶應義塾大学医学部卒業。同大学院博士課程予防医学系修了後、同大学助手、講師を経て現職、現在に至る。医学博士(慶應大学)、公衆衛生学修士(ハーバード大学)。◆専門分野：予防医学、疫学。



第二部：事例発表—主な事例内容—

<企業>

西洋フード・コンパスグループ株式会社

◆西洋フード・コンパスグループ株式会社 メニュー開発調理指導室 管理栄養士 菅谷 真由美氏
(ジーエス・ユアサ・インダストリーの事例報告)

[テーマ]

旬菜小鉢で野菜を摂る～メニュー改善事例

取り組みポイント

- 「旬菜小鉢」など野菜小鉢メニューを豊富化
- 「栄養士おすすめメニュー」の導入
- 健康診断での有所見率の低下

株式会社 エトワール海渡

◆株式会社 エトワール海渡
厚生部 管理栄養士 課長 福川 裕子氏

[テーマ]

直営社員食堂における食生活改善事例

取り組みポイント

- 健康管理部門と連携して健康診断の有所見者に対して個別メニューを一部提供
- 「社員食堂モニター制度」を設けて、定期的に社員(モニター)と食堂担当者(管理者、調理師、管理栄養士)が食堂の運営などについて意見交換を実施
- 「野菜摂取推進活動の手引き」で紹介した野菜摂取推進のための取組を実施

株式会社 NECライベックス

◆株式会社 NECライベックス
第一フーズアンドケイタリング事業部 業務グループ 管理栄養士 産業栄養指導者 有馬 まゆ氏

[テーマ]

給食業者が行う食生活改善事例 ～野菜などを中心とした取組

取り組みポイント

- ヘルシーランチ・栄養展示会・栄養キャンペーンなど本部提供の取組が豊富
- 野菜摂取のためのイベント「健康応援フェア」の定期開催

<保健所>

東京都中央区保健所

◆東京都中央区保健所 健康推進課 総括主査 白田 久美子氏

大阪府

◆大阪府 健康福祉部 健康づくり感染症課 総括主査 山口 繁氏

発表内容

- 管内の企業給食での食生活改善活動の概要
- 優良事例などの紹介
- 食堂での食生活改善活動(特に野菜)を指導する面での課題点・問題点

